

遺愛女子中学校・高等学校と 幼稚園とのつながり

遺愛幼稚園

楽しむ、学ぶ、感動する。
子どもたちの春夏秋冬。

保育目標 一人ひとりの園児とそのご家族、教師が
ひとつになって、深い愛情の中で健やか
な成長ができるようにしてあげることです。



遺愛発祥の地
北海道で最初の幼稚園として創立されたのが
遺愛幼稚園です。函館市の伝統的建造物にも
指定されている文化的価値のある建物です。

預かり保育 ひよこコース(満3才)

毎日子どもたちにとって何が一番大切か、各家庭で工夫しながら、楽しい活動を行なっていきます。
詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせは、お気軽にお問い合せください。

学校法人 遺愛幼稚園 函館市元町4-1 TEL 0138-22-0419

<http://www.iajoshi-h.ed.jp/iaikid-m/> **遺愛幼稚園** 検索

入園説明会

ぜひ、お気軽に
お越し下さい!

10月17日(土)
午後1:00~
駐車場有ります

ランチタイム(給食)

週2回火と木は園の台所で**近郊の野菜や安全な食材**を使って
つくる**出来たての温かい昼食**を食べいただきます。温かい食事を
みんなで食べることで、**食事の大切さや楽しさを学びます。**
※アレルギーのお子様にもできるだけ対応いたしますので、お気軽にご相談ください。

英語あそび

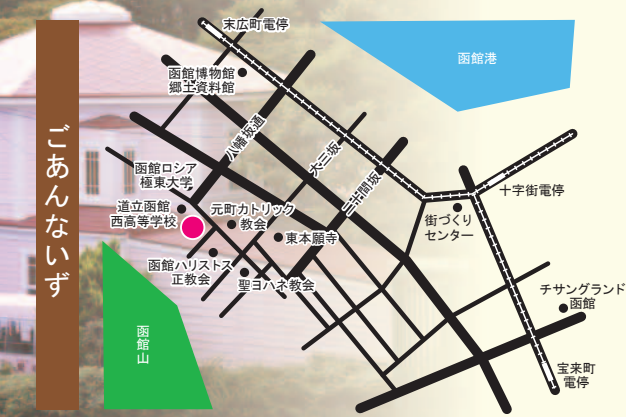
日本人の先生とアメリカ人の先生のクラスがあります。週2回楽
しい遊びを通して、**世界中の人々と心通わせることを自然に身に
付けられるように**、との願いで行っています。

自然と仲良く

お庭に畑をつくり、種植えから収穫まで毎日お世話しながら、
命の大切さ、食べ物をつくる喜びを体験します。感性が最も豊かに
育つこの時期に、**自然の中で五感を使ってあそぶ**ことを大切に
しています。

思いやりの心と知恵ある子

人は一人では生きていけません。お互いに助け合い、励ましあい、
信頼の持てる関係が築けるように、人が大好きになるように、
「あそびは仲間と能動的に意欲的にあそびます。工夫しあってあ
そぶ中で、**困難を乗り越える知恵も育**てます。



遺愛学院は幼稚園への支援・協力を惜しまず行っております。幼稚園と中学・高校は行事など
で交流がとても盛んで深いつながりがあります。より絆を深め、未来を見つめる輝く目を
応援するために2010年より遺愛の幼稚園の卒園生が遺愛女子中学校に進学する際に
入学料の減免を行います。

遺愛旭岡幼稚園

見学説明会 10月6日(火)
午後2時~3時

見学体験日 10月17日(土)
午前10時30分~正午

遺愛学院の学生のハンドベル演奏があります。
ぜひ、お気軽に園にきてください。

両日とも、お電話くださいれば送迎バスでお迎えに行きます。

園の目標
キリスト教精神に基づき
豊かな心とおもいやりの
心を育てます。



- 給食 週3回**
- お弁当 週2回**
- エアロビクス**
インストラクターの先生と一緒にリズムに合わせて楽しく体を動かします。
- 英語で遊ぼう**
月に2回、外国の先生と一緒に楽しく、歌や基本の会話で遊びます。
- 預かり保育** 子育てを応援しています。
- 未就園児 こひびサークル** 就園前に先生とお家の方と一緒に楽しく遊びます。

特典制度があります 兄弟姉妹で入園すると下のお子さんの入園料が半額になります。保育料は毎月5,000円を減免します。

学校法人 遺愛旭岡幼稚園 函館市西旭岡町2丁目6番1号
TEL 0138-50-3308 FAX 0138-50-4936
E-mail iaiaishkids@yacht.onc.ne.jp
<http://www.iajoshi-h.ed.jp> **遺愛旭岡幼稚園** 検索

北海道新聞

広告特集

9/26(土)

135周年記念式典

●とき/10:00 ●ところ/遺愛アリーナ(大体育館)

大同窓会

●とき/17:30 ●ところ/函館国際ホテル



遺愛学院の旧宣教師館(ホワイトハウス)と本館は国の重要文化財に、
講堂と謝恩館は国の登録有形文化財に指定されています。

遺愛学院が誇るこの4つの建物は、先人がつくり上げた貴重な文化財として、これからも大切に守られ、
生徒をはじめ本校を訪れる人々に歴史と伝統を語り続けることでしょう。

創基 135周年



遺愛は多くの人の祈りと神様の愛に支えられて135年の歴史を刻んできました。

遺愛の始まり

函館は150年前の開港以来、様々な異国の文化を積極的に導入してきました。その函館にアメリカ宣教師夫妻
(M.C.ハリス夫妻)が訪れたのは開港15年後の1874年(明治7年)1月26日のことでした。着任早々ハリス夫人は「日
日学校」を開き、5人の子に英語や聖書、裁縫などを教えていました。それはハリス氏の「愛育学校」に受け継がれ
ましたが、もっと本格的な女子教育の場が必要であることを強く感じた夫人は、アメリカメソジスト監督教会婦人伝道
局の機関誌に「函館に「寮付きの学校」が必要であることを訴えました。ちょうどその頃、最愛の娘を病気で失い悲
しみに打ちひしがれていたカロライン・ライト夫人の目に止まったのが機関誌のハリス夫人の記事でした。敬虔な
クリスチャンであったライト夫人は一読して、とても心を動かされました。召天された愛娘への祈りと神様の愛に
報いるために良き奉仕のわざとして、愛娘のために蓄えていた教育資金と教会「バザー」で手作りの手芸品を販売し
て得た益金とを合わせて、1800ドルを献金として函館に送って下さいました。ハリス夫人の記事の2年後の1878年

にプリーストという先生が来函し学校を設立しますが、大火で焼失してしまいます。しかし4年後の1882年(明治15
年)元町の高山に洋風の校舎が建築され、ライト夫人の名前をとって「カロライン・ライト・メモリアル・スクール」が
開校されました。東北・北海道では初めての文部省認可の女学校で、6人の女生徒からのスタートでした。3年後「遺
愛女学校」と改名変更されました。その後、幼稚園の併設、校舎の現在地への移転、英語科や特別進学コースの設
置など学制改革を重ね、今日に至っています。この間、決して順風満帆であったわけではなく、何度か見舞われた
大火による校舎の焼失、戦時中の苦難など数々の困難を、多くの人々の祈りと神様の愛に支えられて歩んできま
した。今年は、ハリス夫妻が来函し、「日日学校」を始めてちょうど135年となります。

学校法人 遺愛学院

法人事務局 / 〒040-8543 函館市杉並町23番11号
TEL 0138-51-0418(代) FAX 0138-51-7150

ホームページも是非ご覧ください

<http://www.iajoshi-h.ed.jp> **遺愛学院** 検索

歴史・沿革(1874~2009)

1874(明治7年)	アメリカ人の宣教師夫妻M.C.ハリス夫妻来函。翌年「日日学校」(Day School)を開設。これが遺愛女学校の始まりである(創基日)
1876(明治9年)	ハリス夫人の意向により、6人の女生徒を擁する「カロライン・ライト・メモリアル・スクール」に改称
1878(明治11年)	アメリカ人の宣教師夫妻が来函し、地下地蔵を祀る
1880(明治14年)	文部省認可の正統な女学校として2月1日開校。校名の由来は「カロライン・ライト・メモリアル・スクール」(創立日)
1882(明治15年)	文部省認可の正統な女学校として2月1日開校。校名の由来は「カロライン・ライト・メモリアル・スクール」(創立日)
1883(明治18年)	改名「遺愛女学校」となる
1891(明治24年)	手続を専ら小学校に整理し、1903年(明治36年)に「遺愛女子中学校」と改称
1892(明治25年)	手続を専ら小学校に整理し、1903年(明治36年)に「遺愛女子中学校」と改称
1895(明治28年)	幼稚園併設
1903(明治36年)	函館市(現校地)に新校舎(寄宿舎)を建設。寄宿舎完成。校歌制定
1915(大正4年)	校章制定。前館舎(現学生舎の前身)完成
1924(大正13年)	大規模に第三運動場完成
1930(昭和5年)	セーラー服の制服制定
1934(昭和9年)	函館大・道大・道大の合併のため、給食調理所開設
1935(昭和10年)	講堂完成
1937(昭和12年)	日中戦争始まり。この頃より、軍国主義的進歩への参加が加わる
1941(昭和16年)	太平洋戦争始まり。学校閉校
1944(昭和19年)	「遺愛高等女学校」となる
1945(昭和20年)	校舎・運動場に爆撃され、現校舎に移転(4月)校歌(8月)校舎完成
1947(昭和22年)	新制中学校発足
1948(昭和23年)	新制高等学校発足。「遺愛女子高等学校」及び「併設中学校」と改称
1950(昭和25年)	遺愛P.T.A.発足
1954(昭和29年)	新制度(現行)制定
1963(昭和38年)	生徒会機関誌「すずらん」創刊
1969(昭和44年)	英語科新設
1972(昭和47年)	P.T.A.により発足
1980(昭和55年)	創立50周年記念新校舎完成
1981(昭和56年)	法人を「遺愛学院」とする
1982(昭和57年)	遺愛学院幼稚園開設(遺愛幼稚園敷地内)。(4月)設置。設置後「アトリス」を北海道文化財に指定(8月)創立50周年記念式典。(9月)
1985(昭和60年)	講堂にパイプオルガン設置
1988(昭和63年)	普通科特別進学コース設置
1991(平成3年)	中学校~中・高一貫の新体制制定。(4月)創立50周年記念式典。(6月)
1992(平成4年)	中学校~新体制制定。(4月)創立50周年記念式典。(6月)
1996(平成8年)	創立百五十周年記念東館完成。(11月)
1997(平成9年)	本館登録有形文化財に指定(5月)創立百五十周年記念式典。(9月)
1998(平成10年)	遺愛学院寮別館完成
2001(平成13年)	ホワイトハウスの重要文化財に指定。(6月)
2002(平成14年)	本館登録有形文化財に指定(9月)遺愛学院の重要文化財に指定(9月)
2004(平成16年)	創立百三十周年記念式典。(11月)本館 国の重要文化財に指定。(12月)
2005(平成17年)	謝恩館 登録有形文化財に指定。(3月)新体制完成。(4月)
2006(平成18年)	新体制完成。(4月)



応援したいのは、
未来を見つめる輝く目。



遺愛女子中学校

卒業生からのメッセージ



医学部現役合格のヒミツ!?
私は中学・高校の6年間を遺愛で過ごし、この春横浜国立大学医学部医学科に入学しました。中学では英語と数学の先取り授業を行っており、大学受験のための問題演習を多くすることができました。特に英語のレベルは非常に高く、高校2年で英検準1級を取得するまで上達しました。得意科目を伸ばすだけでなく苦手なところは先生方に聞きに行く、と理解できるようになるまで一つ一つ丁寧に教えて下さいました。おかげで医学部現役合格を果たすことができたのだと思います。勉強面、生活面の両方において高め合える環境だったと思います。みなさんも遺愛で充実した中学・高校生活を送ってみてはいかがでしょうか。



部活動も精一杯楽しめる
みなさんは中学・高校時代をどのように過ごしたいと考えていますか。私は中学でハンドベル部と生徒会、高校では吹奏楽部に所属していました。なかでも吹奏楽局はほぼ毎日練習があり、本当に大変でしたが高校でそのような忙しい部活を続けられたのは、中学から一貫教育で早い段階から高校の内容に取りかかっていたおかげだと思います。一貫だと高校受験の心配がないので、中3時にも課外活動に力を入れられるというメリットもあります。勉強だけでなく、課外活動から得られたものも自分を大きく成長させてくれたと思っています。みなさんぜひ、遺愛で6年間の一貫教育を通して充実した毎日をご過ごしてください。

Table with 12 columns: 聖書, 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健・体育, 技術・家庭, 英語, 総合学習, 合計. Rows for 1st, 2nd, and 3rd year.

Table with 12 columns: 聖書, 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 保健・体育, 家庭, 英語, 情報, 総合学習, 合計. Rows for 1st, 2nd, and 3rd year.

Table with 12 columns: 聖書, 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 保健・体育, 家庭, 英語, 情報, 総合学習, 合計. Rows for 1st, 2nd, and 3rd year.

カリキュラム 遺愛中・高生は原則、全員遺愛高校の特別進学コースに進み大学進学に向け演習を行います。遺愛では6年間の学習を具体的に中学・高校で重複する部分とは異なり、さらに詳しく勉強すべきところはじっくりと時間をかけて勉強できるようになりました。中高一貫カリキュラムでは余裕をもって学力をつけることができます。

遺愛女子高等学校

普通科一般コース

Table with 7 columns: 国語, 地・公, 数学, 理科, 英語, 選択科目. Rows for 1st, 2nd, and 3rd year.

高2からの系統別カリキュラムで将来の夢が広がります
国公立・看護・医療系、文系大学進学系、専門学校・就職系の3つのコースに分かれているので多様な進路に対応できます。毎年国公立大学に現役で3~4名合格しています。看護学校には、ほぼ100%の合格率です。過去3年間の就職内定率87%以上です。

普通科特別進学コース

Table with 7 columns: 国語, 地歴, 公民, 数学, 理科, 英語. Rows for 1st, 2nd, and 3rd year.

現役突破 充実したカリキュラム
特別進学コースは国公立大学へ現役での合格をめざしています。そのために主要5教科で標準単位数を上回る授業時数を確保しています。さらに放課後の講習で基礎力を強化します。また2年次からは目標としたい進路に応じた、文系と理系のコースに分け、受験教科を集中的に学習します。

英語科

Table with 7 columns: 国語, 地歴, 公民, 数学, 理科, 英語. Rows for 1st, 2nd, and 3rd year.

道内では先駆的存在の英語科で国際人への一歩を
1969年に新設されて以来、道内の英語科をリードしてきました。3年間の総授業数の実に3分の1(週12時間以上)が英語教育にあてられています。英文解釈・文法・英会話はもちろん、外国事情や英語表現という科目を通じて、グローバルな視野で世界を見つめる生徒の育成に努めています。

遺愛はクラブ活動がとっても活発!! 90%以上の生徒がクラブ活動に参加しています。
体育系クラブ: 新体操, テニス, 卓球, 陸上部, 水泳, ソフトボール, バレーボール, 羽球, 剣道, 弓道, 山岳部, バスケットボール.
文化系クラブ: YWCA, 図書部, 吹奏楽局, 放送局, 生物部, 化学部, 地学部, 英語部, 演劇部, 音楽部, イラスト部, 美術部, 書道部, 茶道部, 家庭部, 写真部, 華道部, 映画研究部, アイネット, ハンドベルクワイア.

卒業生からのメッセージ



入学前、私の中で女子校はあまり良いイメージではありませんでした。さらに、私は親元を離れての寮生活だったので、不安増でした。でも実際に遺愛に入学してみると「女子校って素晴らしい!!」と思いました。遺愛祭や体育祭など、何でも本気で取り組んで高校生活をこんなに楽しめたのは、遺愛だからだと思います。遺愛でよかったと一番感じることは絶対に失いたくない大切な人に出会えたことです。仲良くしてくれた友達、一緒に戦ってきた大好きなバレー部の仲間、いつも一緒にいて本当の家族のような寮生、とても親身になってくれた先生方、みんなみんな私の一生の宝物です。みなさんも遺愛に入って素敵な出会いをしませんか。



遺愛には、勉強と部活動や生徒会活動を両立できる環境が整っています。私は生徒会に所属していました。勉強との両立など不安でしたが、朝から下校時刻まで開放されている図書館や、いつも親身になってくれる先生方に助けられ3年間開けることができました。入学前は女子校に対して不安でいっぱいでしたが、女子校だからこそ深い友情を築くことができた、卒業してから改めて思います。現在、私は大学生活も少しずつ慣れて、専門的な講義や大学ならではの活動に取り組み、充実した日々を送っています。遺愛は私を大きく成長させてくれました。遺愛に入ってくれたと卒業した今、より強く感謝しています。みなさんも遺愛で青春を謳歌しませんか。



私の遺愛生としての日々は、仲の良い友達と毎日騒いで、笑ってばかりなのですが、遺愛の厳しい校則のおかげでルールを守ることの大切さを知るようになりました。一緒に悩んでくれる先生がいるので、何か困ったことがあるけどすぐに解決することが身について、最高に楽しく爽やかな3年間でした。今、私の大学生活では、遺愛で学んだことが大いに活かされています。特に「感謝する」という気持ちを人よりも深く理解できていることは、これからの大きな財産になると思います。みなさんぜひ遺愛で充実した、楽しい中学・高校生活を送ってほしいと思います。

今こそ、女子校教育!!

女子校のイメージという... 陰険でしめじめして、イジメがありそう... 実際は全然ちがう女子校のイメージ... 実際は全然ちがう女子校のイメージ... 実際は全然ちがう女子校のイメージ... 実際は全然ちがう女子校のイメージ...

- Q. 実際に入学してみても遺愛が女子校であることはどうでしたか? A. まわりが変わったねと言われるくらい成長できた。 A. のびのびでできた。何でもオープン!!
- Q. 女子校の良さは何だと思えますか? A. ありのままの自分を出せる A. 女子校だからラク
- Q. 女子校の良さは何だと思えますか? A. みんな先輩・後輩がまわりが良い A. 男子が少ないから気にしないで何でも話せる

学校説明会II 日時/10月24日(土) 14:00~ 会場/遺愛女子中学校
オープン模試 日時/11月3日(火) 会場/遺愛女子中学校
高校見学会(各コース別ガイダンス) 日時/10月31日(土) 13:00~ 会場/遺愛女子高等学校
波島・松山地区 私立女子校進学フェア 日時/10月11日(日) 13:00~ 会場/はびあ八雲<江差> 日時/10月12日(月) 13:00~ 会場/江差町保健センター

遺愛女子高等学校 過去7年間の進路結果(主要大学のみ)

Table with 2 main columns: 国公立大学 and 私立大学. Each column has sub-columns for years 03~06, 07, 08, 09 and counts.

デカルソン先生と「奉仕の精神」について

デカルソン先生は遺愛女学校第4代校長で、35年間校長職を務めました。「信仰・犠牲・奉仕」を校训として位置づけ、特に奉仕の精神の大切さを説き、自ら貧民救済、病人慰問、育児教育などの奉仕を実践した方です。図書館盲院(図書館学校・図書館学校の前身)を教育的にも財政的にも支援しました。「DO YOUR BEST!」が口癖で生徒達に大きな影響を与えました。今も「奉仕の精神」は受け継がれ、病院・福祉施設訪問、キャリア説明、清掃ボランティア、外国客船通訳ボランティア、登山山ボランティアなどに多くの生徒が参加しています。

